



茨城縣暴働記聞



二衣手の流波の山を越て流き... 那珂川を隔て暴徒の也を... 押入金穀を奪ひ十二月七日野口村... 暴徒巨魁を捕まへて... 那珂郡大宮驛... 懲役人又捕まへて... 捕り手も罪を軽く... 獄中昨夜牢を破り... 入巨魁大和の側近... 刃を渡し加勢を頼む... 利右衛門の首を... 負せし早く首と... 御賞可有り

編輯 大田錦識



真近錦光





茨城縣日暮勸記聞

あちて つくわ
衣手の筑波の山を
おちり 越え
流き烈き





衣手の沓波の山を越て流き烈き
 那珂川を隔て暴徒か屯をか百姓一揆
 打ち士族郷士の非軍も暴徒の巨魁大和
 利左門を續て其他橋本長山の族百姓共を
 率いて獵銃竹槍等持来り小祝村の區務所
 押入金穀を奪ひ十二月七日野村村に至り
 宅所へ向ひ數度暴戦其内賊軍の爲に巡査
 方お死有暴徒兵お死怪我人數不詳
 暴徒巨魁を巨捕爲り參事警部内
 務権丞其他隨行の面々水戸表より那
 珂郡大宮驛へ出張さき警部の差圖より
 懲役人四人撰みて内々暴徒の巨魁の者と巨
 捕の者も八罪を輕んじ申渡さ懲役
 人共得賢し走り行き暴徒方へ込め
 禁ハ昨夜牢を破り者と偽り暴徒へ加
 入巨魁大和の側近に進み大和の心
 をく刀を渡一加勢を頼むと氣を故
 處懲役人憤發透を覗ひ飛込大和
 利左門の首を打落し七八人お手おを
 負せ手早く首を袖に包み縣廳へ持
 来美子妙策の働きありと縣廳より
 御賞與有り

編輯 大田錦識





真近銘先



長谷川町北番地
福田熊六郎板
安建平七画

